

檜枝岐村ルートの基本情報

ルート全体の距離：約 13.8km

集落めぐりコース (約 5.3km・片道約 2時間 30分)

尾瀬国立公園の玄関口。鎮守の森の歌舞伎舞台など、厳しい自然と共に生きてきた山村独自の知恵や文化を知り、集落のたたずまいをめぐりコース。

難易度 ★(一般向け)

最寄りの交通機関・駐車場

道の駅「尾瀬檜枝岐」駐車場・バス停
ミニ尾瀬公園駐車場・バス停

尾瀬沼・会津沼田街道コース (約 8.5km・片道約 4時間)

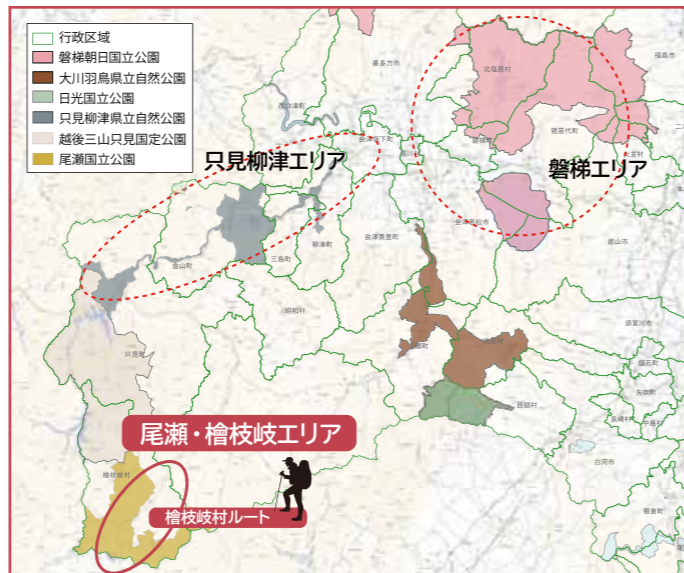
自然道の残るかつての街道で山峠を越え、大江湿原の木道を歩きながら、尾瀬沼と周囲の深い山々の広大な景色を楽しむ登山コース。

難易度 ★★(登山初級～中級者向け)

最寄りの交通機関・駐車場

七入駐車場・バス停

ゆっくり、じっくり、歩いて旅する 会津トレイル



福島県西部に広がる会津地方は、広大な森林と変化に富んだ山や川、希少な動植物など、豊かな自然に恵まれています。また、農村には、自然と人の暮らしが織りなす里山の風景が残されています。

「会津トレイル」は、趣のある集落道や田園風景が広がる里山の道、かつての街道など、会津の自然や独自の文化、そこに暮らす人々の温かいもてなしを感じることができる「道」をつないでいます。ぜひ、歩くスピードで、豊かな会津を肌で感じてください。

尾瀬・檜枝岐エリア

訪れる自然公園：尾瀬国立公園

本州最大の高層湿原である尾瀬ヶ原、噴火により只見川の源流部がせき止められてできた尾瀬沼、それらを囲む至仏山や燧ヶ岳、会津駒ヶ岳などの名峰が織りなす美しい風景を有しています。福島県側の玄関口に位置する檜枝岐村では、深山幽谷の郷に凛とした暮らしが息づいています。

会津トレイルのルール

トレイルを歩くときはマナーを守り、安全第一で利用してください。

- ・安全管理は自己責任が基本です。決して無理をしないようにしましょう。
- ・事前に距離や時間、交通機関などを把握し、余裕のある計画を立てましょう。
- ・交通ルールを守り、事故に注意しましょう。
- ・自然道では落石や倒木、土砂崩れ等に注意しましょう。また、天候が悪い時や積雪期は歩行を控えましょう。
- ・動植物を持ち帰ったり、傷つけたりしないようにしましょう。
- ・ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- ・コース外の森や田畑、民家の敷地などには入らないようにしましょう。また、施設の損壊に注意しましょう。
- ・他のハイカーや地元の方に配慮した行動を心掛けましょう。
- ・キャンプやたき火は、決められた場所で行いましょう。
- ・クマやハチなどの野生動物に注意。クマよけ鈴を携帯しましょう。

緊急時の救助要請 警察 110 救急車 119



問い合わせ先

尾瀬檜枝岐温泉観光協会

〒967-0527 福島県南会津郡檜枝岐村
字見通 1155-1
TEL.0241-75-2432 FAX.0241-72-8010

発行：環境省
福島県生活環境部 自然保護課
〒960-8670 福島県福島市杉妻町 2-16
Tel : 024-521-7251 Fax : 024-521-7927



Fukushima
Green
Revitalization
2021年3月

会津トレイル

檜枝岐村ルート

尾瀬・檜枝岐エリア

山人の伝統と尾瀬の古道をめぐる旅



檜枝岐に根付く山人の 伝統に触れ、峠を越えて 尾瀬の湿原と山々が織りなす 広大な景色を楽しむ

檜枝岐村は会津地方の西南端に位置する尾瀬国立公園の福島県側の玄関口です。

東北最高峰の燧ヶ岳や会津駒ヶ岳など 2000m 級の山々にぐるりと囲まれ、村の標高は 900m を越えています。平地が少なく日照時間が短いため米を作れず、昭和 30 年代までは畑の近くに建てた「出作り小屋」に家族で住み、ソバなどを育てていました。出作り小屋に出かける 5 月と村に帰ってくる 8 月に人々は集まり、豊穡の祈りと再会の感謝を込めて鎮守の神に奉じたのが檜枝岐歌舞伎です。すべて村人で支えられる歌舞伎の技と精神は、代々親から子へと受け継がれ、村の暮らしを伝えています。



山懐に抱かれた檜枝岐村

中土公園展望台からは、深い山間にたたずむ村を一望。赤さび色に塗られた屋根が美しい。



会津沼田街道

かつて交易路として使われていた会津と上州を結ぶ古道。七入から沼山峠間は、今も沢沿いに自然道が残されています。途中の抱返ノ滝は優雅な表情。



大江湿原

尾瀬沼周辺で最も広大な湿原。湿原植物が季節ごとの表情を見せてくれます。会津トレイル「只見柳津エリア」を流れる只見川の源流部でもあります。

ちょっと一息



尾瀬の郷 交流センター (道の駅「尾瀬檜枝岐」内)

檜枝岐名物の「裁ち蕎麦」などを食すことができるお食事処。また、檜枝岐村の特産物の販売もしています。



山人(やも一ど)料理

村の蕎麦粉、山菜、きのこや川魚などの季節食材を使った郷土料理。村の蕎麦店や旅館にて食べられます。



ミニ尾瀬 Café (ミニ尾瀬公園内)

山の恵みを活かしたカフェスイーツメニューが揃う。「サンショウウオジェラート」は元気が出る美味しさ!



燧の湯

村内の公衆浴場。単純硫黄泉の源泉かけ流しの温泉。露天風呂で旅の疲れを癒しましょう。

トレイルを楽しむための服装・持ち物

服装

- リュックサック
- トレッキングシューズ
- 上着 (休憩時や天気の急変時に便利)
- スポン (動きやすく速乾性素材のもの)
- シャツ (速乾性素材の半袖・長袖)
- ストック
- 帽子
- 手袋
- マスク

持ち物

- 飲料水
- 地図
- 携帯電話
- 時計
- クマよけ鈴
- タオルや手ぬぐい
- レインウェア
- 着替え
- 行動食 (チョコレートや飴、ビスケットなど)



現地に必要なものがなくて困ったり、荷物が多すぎて疲れたりすることのないようしっかりと準備しましょう。

尾瀬・檜枝岐エリア

檜枝岐村ルート

山人の文化と尾瀬の古道をめぐる旅

トレイルルート

- 集落めぐりコース 約 5.3 km**
(ミニ尾瀬公園⇄七入区間 連絡路線 約4.2km
バスで片道約10分/レンタサイクル片道約30分)
- 尾瀬沼・会津沼田街道コース 約 8.5 km**
未舗装

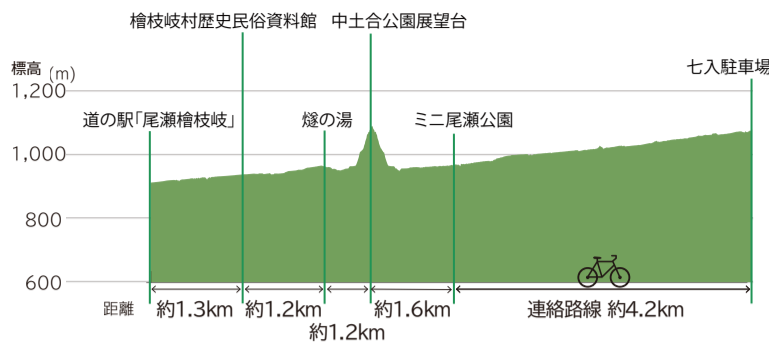
●◀20▶● コースタイム

凡例

- 📷 ビューポイント
- ♨️ 入浴施設
- 🏯 寺社
- 🏠 展示施設
- 🛒 買い物
- 📍 観光案内所
- 🚻 トイレ
- 🍽️ 食事
- 🏠 宿泊
- 🎿 スキー場
- 🏕️ キャンプ場
- 🌳 公園
- 🚲 レンタサイクルステーション
- 🅑🅓 駐車場
- 🚌 バス停
- 🏥 公設病院
- 🚶 市町村指定避難場所
- 🏠 行政区画
- 🌿 自然公園地域

出典：国土地理院発行 2.5 万分 1 地形図
電子地形図 25000 (国土地理院) を加工して作成

集落めぐりコースの距離と高低差



集落めぐりコース 約 5.3 km

尾瀬自然観察の森遊歩道

尾瀬沼・会津沼田街道コース 約 8.5 km

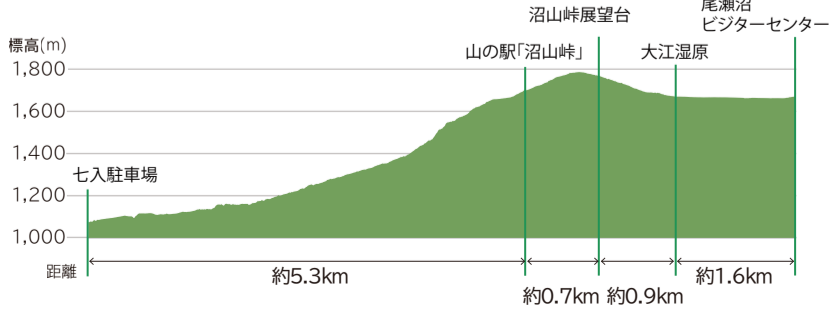
会津沼田街道

七入から沼山峠を越え、大江湿原、尾瀬沼、三平下を通って大清水に抜ける「会津沼田街道」。1600年代の初めから明治維新の頃まで、会津と上州を結ぶ交易路として人々が往来した歴史深い古道。

落差25m

抱返ノ滝

尾瀬沼・会津沼田街道コースの距離と高低差



地図縮尺 1:25,000

0 1 2 km



交通案内

車でお越しの方

関東方面から
西部須野 塩原 IC 国道 400 号 → 塩原 温泉 国道 400 号 → 尾頭 トンネル 国道 121 号 → 早坂 国道 352 号 → 檜枝岐村

東北方面から
白河 IC 国道 289 号 → 甲子 トンネル 国道 121 号 → 田島 国道 289 号 → 山口 国道 401 号 → 内川 国道 352 号 → 檜枝岐村

郡山 JCT 磐越自動車道 → 会津若松 IC 国道 118 号 → 田島 国道 289 号 → 山口 国道 401 号 → 内川 国道 352 号 → 檜枝岐村

上信越方面から
小出 IC 国道 252 号 (冬期通行止め期間あり) → 只見 国道 289 号 → 山口 国道 352 号 → 檜枝岐村

新潟中央 JCT 磐越自動車道 → 会津若松 IC 国道 118 号 → 田島 国道 289 号 → 山口 国道 401 号 → 内川 国道 352 号 → 檜枝岐村

公共交通機関でお越しの方

関東方面から
浅草駅 → 東武特急 リバティ会津 → 北千住駅 → 東武特急 リバティ会津 → 会津高原尾瀬口駅 → 会津バス レンタカー → 檜枝岐村

大手町 → 東京メトロ千代田線 → 北千住駅 → 東武特急 リバティ会津 → 会津高原尾瀬口駅 → 会津バス レンタカー → 檜枝岐村

東北方面から
郡山駅 → 磐越西線 → 会津若松駅 → 会津鉄道 → 会津田島駅 → 会津バス レンタカー → 檜枝岐村

上信越方面から
新潟駅 → 信越本線・磐越西線 高速バス → 会津若松駅 → 会津鉄道 → 会津田島駅 → 会津バス レンタカー → 檜枝岐村